



福岡県立福岡農業高等学校

「為すことによって学ぶ」体験を重視した教育

本年度創立140周年を迎える福岡県立福岡農業高等学校は、明治12年に我が国を代表する先導的な農業指導者の育成を目的に勸業試験場内の農学校として誕生した、農業と家庭に関する学科を有する専門高校です。

「為すことによって学ぶ」を教育の特色とし、確かな学力を付けるために専門教育の特徴である体験的な学習を重視した教育活動を行っています。

1 学校運営方針

校訓「『耕』 土を耕し、心を耕し、未来を耕す」に基づいた学校経営を行う。土を耕すとは知(学力、学習意欲)、心を耕すとは徳(人格、道徳心)、未来を耕すとは夢(自己実現)のことであり、本校の教育理念とする。

「常に授業改善に取り組み、生徒が自ら学ぶ意欲を喚起させ、それぞれの目標・評価基準を明確にし、確かな学力の向上を図る」を今年度の重点目標とし、学習意欲を喚起する学習内容やICT活用、アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業改善についての職員研修会を積極的に実施しています。さらに、異校種(小・中学校)の授業研修にも参加し、職員の授業スキルの向上を図っています。

2 学びの実感を高める授業の推進

(1) 創立140周年企画「福農 Happy Wedding」-What we can do-

都市園芸科、生活デザイン科、食品科学科の生徒たちが、各学科での学びを生かして、11月2日(金)に行われる卒業生の結婚式を総合プロデュースします。

生活デザイン科の生徒たちは、「課題研究」の授業で、ウェディングドレスとウェディングケーキを製作します。調理・被服などの実験・実習で衣食住などの文化への関心を高めてきた生徒たちが、新郎新婦の出会いのエピソードなどテーマに沿ったケーキのアイデアを提案し、一針一針思いを込めてウェディングドレスを製作して、二人の思いや願いを形にしていきます。

都市園芸科の生徒たちは、農業の科目の一つである「生物活用」の授業で、ブライダルブーケを製作します。園芸作物の栽培管理や製造・販売、フラワーアレンジメントなどの学習で身に付けた植物に関する知識を活用し、二人の思いを花言葉で表現して結婚式を彩ります。また、学校の中庭を利用してガーデンウェディングの会場を製作します。

食品科学科の生徒たちは、農業の科目の一つである「食品製造」の授業で、引き出物のジャムを製作します。食品や栄養・製造の実験・実習で培った製造・加工技術をもとに、新郎新婦にも一緒に製作に携わっていただき、招待客へもてなしの心を表現します。

日々の授業で身に付けた知識・技能を、卒業生のウェディングをプロデュースするという実際の場面で発揮するために、新郎新婦との対話を重ね、試行錯誤しながら、主体的に取り組んでいます。まさにアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の集大成ともいえる企画となっています。



ウェディングドレスの打合せ



フラワーアレンジメントの実習



ジャムの製作

(2) 地域貢献

農業の科目の一つである「食品栄養」（学校設定科目）の授業では、太宰府市役所、カルビー株式会社西日本事業部、理研ビタミン株式会社と協力し、ポテトチップスの商品開発を行っています。生徒たちは開発チームを作り、パッケージのアイデアについて企業の広報担当者からアドバイスを受けたり、商談実習模擬授業を行ったりするなど、実際の商品開発場面を想定して学習しています。その際、開発チームの生徒たちは、一人ひとりが自分の考えをもち、意見を出し合いながら協働的に学習しています。また、試食販売やマーケティング調査を実施することで、商品の企画、販売、マーケティングの過程を学び、社会での即戦力を有する人材育成を実現しています。なお、開発した商品はふるさと納税の返礼品として定着しており、売上の一部を太宰府市に寄付し地域振興に貢献することができています。

また、保育園との交流実習や太宰府ウメサイダーの開発、食育教室、親子お菓子教室、ミカン狩りを実施するなど、地域に貢献する活動を積極的に行っています。



パッケージの製作授業



商談実習模擬授業



アンケート集約授業

(3) 「高度農業技術人材育成事業（SPH）」（H26～30 文部科学省指定）としての取組

将来の農業及び関連産業に従事するプロフェッショナルを育成するため、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身に付けるための研究を実施しています。

<学習の柱(1)> フロンティア学習

関係機関と連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により、栽培管理に関する技術を体験的、理論的に学びます。専攻科の学生が高校生に実技指導を行う専攻科特別講義（ティーチング・アシスタント）の取組によって、学生と生徒とのコミュニケーションが活発に行われています。

<学習の柱(2)> マネジメント学習

現場実習や現地視察研修から、自立した農業経営に必要な実践的な経営感覚を身に付けます。長期休業中に8日間の企業や団体で働く実習体験（プラクティカルトレーニング）を実施します。

<学習の柱(3)> スキルアップ学習

栽培技術の向上と付加価値を高めるための技術や能力を実践的に学びます。外部講師による特別授業で、農業の6次産業化に必要な最先端の知識とスキルを習得します。また、希望進路を実現するために必要な知識・技術を学習し、高度な資格取得に挑戦しています。

生徒は各学習を通して専門性の高い知識や技術を学ぶことができます。また、社会で働くことの厳しさや知識・技術面で必要とされるスキルを知り、課題を発見して解決できるように創意工夫し、より実践的な力を身に付けることができます。生徒自身も力が付いたことを実感しており、外部講師による特別授業で得た知識を礎とし、高度な資格に挑戦する生徒も増加しています。

3 今後の方向性

創立140周年記念事業に向けて生徒を主体とした運営を行い、教育環境の整備を行うとともに、愛校心や学習への意欲高揚を図っています。さらに、「鍛ほめ福岡メソッド」を推進し、150周年を見据えた学校構想「ワンステップアップ構想」の構築を行っています。また、SPHの研究を進め、専攻科や関係高等学校、専門機関との連携を図り農業教育の充実発展に貢献し、その成果の普及を福岡県内外の農業関係高等学校に対して報告会等を通じて行っていく予定です。